

『東海大学紀要経営学部』創刊に寄せて

経営学部学部長

八木 英一郎

東海大学経営学部（湘南・品川キャンパス）は、2022年の大学全体の大規模な改組のもとで、それまで湘南キャンパスに設置されていた政治経済学部経営学科を中心とし、高輪キャンパス（現・品川キャンパス）に設置されていた情報通信学部経営システム工学科の要素をも取り込み開設された経営学科1学科からなる学部である。なお、2013年から熊本キャンパスに設置された経営学部とは名称を同じくするものの直接的なつながりはない。本学部の母体となった政治経済学部経営学科は1966年に開設された政治経済学部の政治学科・経済学科に引き続き、1974年に開設された。以来、政治経済学部を構成する3学科（政治学科、経済学科、経営学科）の一翼を担い、約半世紀にわたり着実に発展を遂げてきた。一方の情報通信学部経営システム工学科は1961年に設置された工学部経営工学科を源流とし、その後改組を経て2008年に情報通信学部経営システム工学科となった。新しく生まれた経営学部経営学科は2つの学科が培ってきた学問的蓄積と教育の伝統を継承しつつ、新たな時代の要請に応えるために生まれた。その教育研究上の目的と養成する人材像を「複雑化する課題解決に対し、スキルと強い意志をもって行動できる人材を育成していくことを目的に、経営学の理論・知識とデータ分析能力を持ち、問題解決に向けた新しいプロセスをデザインしながら新しい解決策を模索することができる人材を養成すること」と掲げている。この目的や人材像、そして教育内容は時代とともに変化していくであろうが、教育と研究が大学の両輪である以上、教員一人ひとりの研究力向上の重要性は不変のものである。本紀要が教員の研究発表を通じての自己研鑽の場となるとともに、学術的な提言や活発な議論の契機となり、本学部のさらなる発展に寄与することを心から願う。